

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		運動学習支援教室スマイルパレット日向北町		公表日		令和 8年 3月 20日		利用児童数		10		回収数		9	
		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応							
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない									
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2			身体を使っでの活動の際、人数も増えたので、もう少し広さがある方がケガ等の心配が減るのではないかと思います。	自由遊びとなると室内で元気に走り回る子もいるのでスペースが足りないと感じる子もいる。そういった場合の対策として、二事業所になり職員が増えたら、室内と外に別れる等して、室内は宿題をする子や静かに遊ぶ子用に充分にスペースが取れるようにする。							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	4			イレギュラな状況はどうしても発生するので、人員がもう1人でもいればなあと感じる場合があります。	職員数が最低人数である3人の時があり、送迎が重なる場合は児童に同行を頼む時もある。保護者にお迎えをする時もあり申し訳なかった。4月からは二事業所目が開所し、それに伴い職員の数も倍になり、二事業所間で協力して送迎や保育、療育ができるので、今後はどの時間帯であっても職員の配置数は適切であるように感じてもらえるようになるかと思う。							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					事業所には現在年少から小学4年まで在籍していることもあり、情報伝達等が下の子に合わせた内容になっている。4月から2事業所目ができ、学年によって分かれるので、各事業所にあった情報伝達を心がけたい。口頭で理解できる児童も多く、情報伝達が言葉だけになっていることが多いので、初めての児童や言葉での理解が難しい児童にも見やすく分かるような情報伝達を心がけていきたい。							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					児童の人数も定員に達する日が増え、自由遊びの際には騒がしいと訴える児童も出てきた。4月から2事業所目が開所したら、部屋による遊び方を分ける（静かに過ごしたい児童と元気に遊びたい児童とに分ける）と共に、外遊びの回数も増やし、部屋と外でも分けられるようにする。							
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1			職員によって差があると感じる。	こどもの理解を深めるために保護者さまだけではなく、各関係機関と細目に情報共有をする。こどもの特性等に応じた専門性のある支援ができるように日々研鑽に励む。職員によって差が出ないように、毎日全員で話し合う場を持ち、全員で同じ目標を持って支援や療育をするということを徹底する。（個人の判断ですのではなく、全員で話し合ったことを基に同じ支援や療育をするということを繰り返し確認をする。）							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1		事業所が公表している支援プログラムについては、現在は基本見学や体験、契約の際にしか伝えてはいない。ご利用を開始してから定期的に確認できるようにHUGの一斉配信等で知らせしていく。							
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9												
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9												
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					日々個別に配信しているサービス提供記録は、その日にあった出来事をメインに書くことが多いので、今後は個別支援計画に沿った支援を主に書くように職員で統一していきたい。（その日の行事等の詳細や写真はHUGの一斉配信で、全員にお知らせするようにする。）							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1		2		新しい活動や取り組みをした際には、HUGの一斉配信でお知らせをする。またプログラムが固定化されないように定期的に保護者さまやこどもたちからの要望を聞き、積極的に取り入れるようにする。また他の事業所等とも情報共有をし、いいプログラムがあれば、同じく積極的に取り入れるようにする。							
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	1	2		現在は地域の公園で遊ぶ際に、近所のこどもと一緒に遊ぶ程度にとどまっている。今後は、地域の保育園や幼稚園の行事に参加すると共に、スマイルパレット主催の地域参加型のイベントも考えていく。							
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9												
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					「放課後等デイサービス計画」は通常スマイルパレットでアセスメントを取り、完成したらお迎えやお見送り時に保護者さまに用紙を渡し、口頭で伝えることになっている。何度もスマイルパレットに足を運ばないでいいようにとの保護者さまの負担を軽減しようとして考えたが、丁寧な説明を希望される保護者さまもいるので、お見送り時特別にスマイルパレットでするか、今後は保護者さまに選んでもらうようにする。							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			4		今後平日に開催する時には、お仕事のある保護者様も参加できるように、夜の開催も考えていく。その場合は、お子様の預け先等の問題も出てくるので、別室で預かる等の対応も併せて考えていく。または事前に保護者さまにアンケートを取る等して、できる限り多くの保護者さまが参加できるような交流会や研修会を考える。							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9												
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8		1			「放課後等デイサービス計画」には記載して説明はしているが、周知徹底はしていないので、定期的にHUGを使って一斉配信をすると共に（希望する保護者様にはいつでも面談ができる旨等）、職員側から見て面談や助言等が必要と感じる保護者さまには個別に口頭でお伝えしていく。							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9												
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5			4		保護者会は年に一度開催しているが、参加できない保護者様もいるので、回数を増やしたり、他にも親子交流行事したりする等して、保護者同士の交流の機会を増やしていきたい。またきょうだい向けのイベントはしたことがないので、今後はきょうだいも参加できる親子交流行事等を行うことにより、きょうだい同士の交流の場も設けていきたい。							

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			2	「放課後等デイサービス計画」には記載して説明しているが、周知徹底はしていないので、定期的にHUG等を使って一斉配信すると共に、職員側から見て支援が必要と感じる保護者さまには個別に口頭でお伝えしていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1			平日頃から何かあれば保護者さまのご都合いい方法でお知らせくださいと電話やHUGによるメール、送迎時で直接等の伝達方法を用意しては周知しているので、今後も繰り返し伝えていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			1	現在、通信やホームページ、インスタグラムで配信しているが、まだ取りこぼしがあるので、追加でHUGの一斉配信をすると共に、必要に応じて個別に用紙でもお渡しするようにする。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1	個人情報の取り扱いについては、契約時に必ず話をするようにしているが、一度だけでは周知が難しいので、折に触れ、HUGの一斉配信等で伝えていくようにする。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			2	マニュアルは全て策定しているが、保護者様への周知や説明が徹底されていなかったため、その方法を見直す。児童と一緒に避難訓練だけではなく、職員だけで緊急時対応や感染症対応の研修も、一斉配信やお便り等で保護者様に周知していくようにする。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			1	事業所では、消防訓練（防災訓練）は年に最低2回、非常災害時の避難訓練は年に最低1回は行っているが、保護者への周知が月間予定表の記載のみにとどまっていたので、今後は避難訓練の後にどういったことをしたかを、日々のサービス提供記録やお見送り時の口頭でお伝えだけでなく、HUGの一斉配信やHPの記載により周知しては、保護者様に安心してお子さまを預けてもらえるように努める。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			1	事業所では、救急対応（心肺蘇生法、気道内異物除去、AED・エビベン®の使用等）、不審者対応、送迎車における見落とし防止等を含めて施設の安全計画に基づく研修・訓練を実施しているが、そのことを保護者さまに周知徹底はしていなかったため、今後はHUGの一斉配信やHPの記載により周知徹底していくようにする。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			1	発熱や風邪症状、病院受診が必要なケガの場合は、すぐに保護者さまに連絡をし、詳しく説明するようにしているが、まだ該当する事例がないお子さまもいるので、事故発生時にはどのような対応をしているか、契約の時だけでなく、定期的にHUGの一斉配信やHP等を活用して周知していく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9				
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				